

# リビジョンアップ情報

1

第一回配信各社情報(1993/3 現在)

FACILIS Ver3.0Jのリビジョンアップ情報をお知らせします。

## リビジョンアップ内容

1. B-Maker	Ver 3.0 1 -> 3.0 2	2P
2. X-Plate	Ver 3.0 3 -> 3.0 4	3P
	Ver 3.0 1 -> 3.0 3	3 4P
3. ProcSet		
MPM_Halftone	Ver 1.0 0 -> 1.0 1	5P
MPM_ColorSeparation	Ver 1.0 0 -> 1.0 1	5 6P
MPM_Book	Ver1.0 0 -> 1.0 1	6P
MPM_Imposition	Ver 1.0 0 -> 1.0 1	7P

# リビジョンアップ情報

2

[戻る](#)

第一回配信各社情報 (1993/3 現在)

[FACILIS IM3.0 変更履歴 (1999年2月10日)]

## 【アプリケーション】

### B-Maker 変更履歴

・ Ver 3.0 1 -> 3.0 2

- (1)台割り表を編集中心に、「折丁 (プレビュー)」を印刷する場合、レイアウトに貼り込まれている EPS ファイルが印刷されないことがあるのを修正しました。
- (2)MacOS 8.X で、ポップアップメニューのテキストが全て表示出来なくて、メニューの全てまたは語尾が「...」と表示されるのを修正しました。
- (3)MacOS 8.5 で、特色のポップアップメニューに、数字の羅列が表示されてしまうのを修正しました。
- (4)ダイアログによっては、座標指定するとき、座標の値を変更した後に単位を変更すると、座標の値が変更前の値に戻ってしまうのを修正しました。
- (5)「背丁 / 背標のテキスト情報設定」ダイアログの座標の指定で、単位を変えても、値が変わらないのを修正しました。
- (6)パッチか背丁 / 背標で登録されていないフォントが使われている台を折丁ウィンドウでプレビューする場合、または背丁 / 背標で登録されていないフォントが使われているレイアウトを保存する場合に、メッセージのないダイアログが表示されるのを修正しました。
- (7)ページ番号を手動で設定したレイアウトを開いて編集する場合、「ページ番号と向きの設定」ウィンドウの折りの順番を表わすリストがおかしくなることがあるのを修正しました。

# リビジョンアップ情報

3

[戻る](#)

第一回配信各社情報 (1993/3 現在)

## X-Plate 変更履歴

### ・ Ver 3.03 -> 3.04

- (1)ゾーンの数が多いために、プリンタを選択する時のゾーン名の表示がおかしくなることがあるのを修正しました。
- (2)Windows 版 PageMaker で PS ファイルを作成するとき、Adobe のプリンタドライバの設定で「フォントの送信方法」の「TrueType フォントの送信方法」を「アウトライン」か「Type42」に設定し、PageMaker の設定で「プリント - オプション」ダイアログの「欧文フォントダウンロード」を「PostScript+TrueType」か「TrueType のみ」に設定した場合、作成した PS ファイルの面付けすると  
%%[ Error: undefined; OffendingCommand: Type1Hdr ]%% や  
%%[ Error: undefined; OffendingCommand: t42CSB ]%%  
などのエラーが出て出力できないのを修正しました。

### ・ Ver 3.01 -> 3.03

- (1)Windows 版 PageMaker で作った PS ファイルを読み込むとき、「ページ毎にフォントをダウンロード」をチェックして PS ファイルを作成したにもかかわらず、「チェックされていない」というエラーが出てファイルが読み込めない、というのを修正しました。
- (2)Windows 版 Microsoft Word で作った PS ファイルを面付け出力する場合、フォントのチェック時伴うエラーが出て出力できないことがあるのを修正しました。

# リビジョンアップ情報

4

第一回配信各社情報（1993/3 現在）

[戻る](#)

- (3)「プリファレンス ...」の中の「出力設定」の「フォントのプリロード」をチェックして出力した場合に、  
%%[ Error: undefined; OffendingCommand: procset ]%%  
というエラーが出て出力できないのを修正しました。
- (4)MacOS 8.5 において、「ページセットアップモード」での「ページ」ウィンドウで、データのリンクされてないページをダブルクリックすると、「Type2 エラー」でアプリケーションが終了してしまうのを修正しました。
- (5)DSC3.0 のファイルは、ファイルの先頭行が “ %!PS-Adobe-3.X “  
であるかどうかで認識しています（'X' は 0 以上）。  
この行の後ろにスペース等がある場合には、DSC のファイルとして認識できずにファイルが読み込めないのを修正しました。
- (6)プロジェクトファイルを読み込む時に、そのプロジェクトファイルを作成した時に使用していた「出力特性セット」が見つからなかった場合、「-43 エラー」となり、ファイルを正常に読み込めないのを修正しました。
- (7)出力特性セットの名前を入力する時、名前に ":"（半角コロン）が入ると、ディレクトリの区切りとして認識されてしまい、システムエラーやフリーズするのを修正しました。":" は入力できないようにしました。
- (8) 2 台目以降の台のレイアウトを変更したとき、変更した台より後の台で変更前のレイアウトを 2 台以上続けて使っている台割り表を読み込もうとすると、正しく読み込めないのを修正しました。

# リビジョンアップ情報

5

第一回配信各社情報(1993/3 現在)

[戻る](#)

## 【"ProcSet" フォルダ内のファイル】

### MPM\_Halftone 変更履歴

・ Ver 1.0 0 -> 1.0 1

(1)FACILIS で、線数または角度、ネガの設定をして、PostScript3 の RIP に出力すると、エラーになることがあるのを修正しました。

但し、PostScript3 の RIP の設定によっては、FACILIS でネガ出力できないものがあります。その場合には以下のようなエラーメッセージが出るようにしました。

```
%%[ Error: limitcheck; OffendingCommand: can not invert filetype thresholds! ]%%
```

FACILIS でネガ出力して上記のようなエラーメッセージが出る場合には、RIP 側でネガに設定して出力して下さい。

### MPM\_ColorSeparation 変更履歴

・ Ver 1.0 0 -> 1.0 1

(1)EPS ファイルを配置した Illustrator の EPS ファイルを面付けして色分解出力すると、

```
%%[ Error: stackunderflow; OffendingCommand: image ]%%
```

というエラーが出て出力できないのを修正しました。

(2)特色のグラデーションを使用した Illustrator の EPS ファイルを面付けして色分解出力すると、グラデーションが正常に色分解されず、グラデーション部分が出力されないのを修正しました。

# リビジョンアップ情報

6

第一回配信各社情報(1993/3 現在)

[戻る](#)

(3)パターンを使用した Illustrator の EPS ファイルを面付けして色分解出力しようとする時、

```
%%[ Error: undefined; OffendingCommand: setcolor ]%%
```

というエラーが出て出力できないのを修正しました。

(4)PostScript3 のファイルの中でイメージ辞書が使われている場合、FACILIS で色分解できない場合があります。 その場合には以下のようなエラーメッセージが出るようにしました。

```
%%[ Error: limitcheck; OffendingCommand: unsupported imagetype! ]%%
```

## MPM\_Book 変更履歴

- Ver1.0.0 -> 1.0.1

ページ設定表でページの向きを「右」に設定すると、面付けして出力したときに、ページの位置がずれてしまうのを修正しました。

# リビジョンアップ情報

7

第一回配信各社情報（1993/3 現在）

[戻る](#)

## MPM\_Imposition 変更履歴

・ Ver 1.0 0 -> 1.0 1

- (1)AD-RIP のページの設定で、出力方向を「Landscape」と指定しても、この機能が効かないのを修正しました。
- (2)プロテクトされている和文フォントの輪郭を利用して、文字部分に加工を施している箇所が含まれているページを面付け出力すると、というエラーが出ることを修正しました。

# 終わり